

ありーて

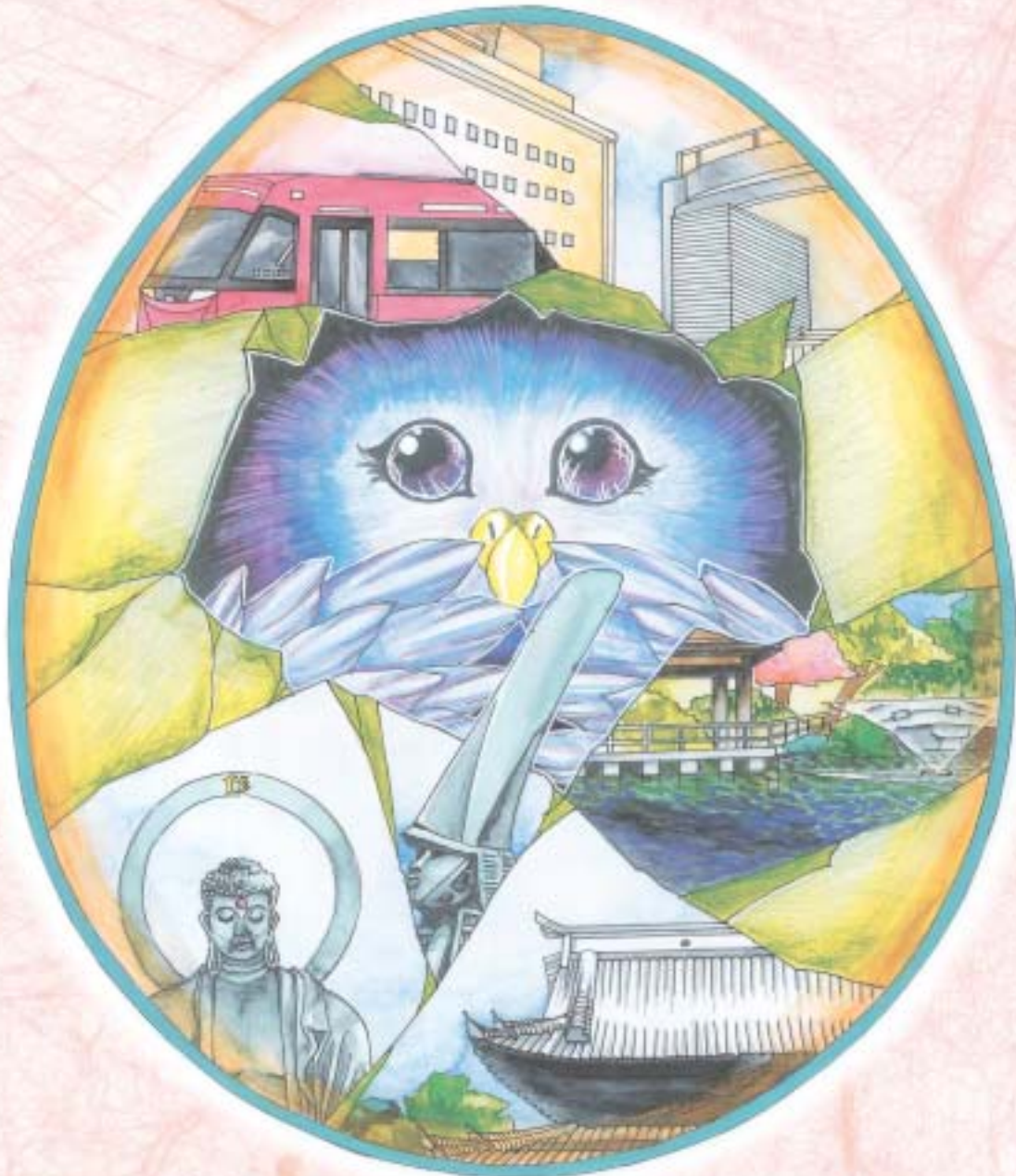
わたしの未来はわたしが創る

もくじ

- 特集 ~ロールモデルに学ぼう~
今、輝いている高岡の女性たちp2
- センター活動登録団体紹介p6
- ご存知ですか?
富山県子育て支援・少子化対策条例p6
- セピア色の写真から／「宮仕えから、人々の生きる支えへと」
永田 真照さんp7
- センターから ほかp8

こんにちは。
わたしが
“ありーて”を
ご案内します。

「ありーて」は
自分の力で問題を解決していく
イギリスの童話
「アリーテ姫の冒険」の
主人公の名前です。





株式会社創建築事務所(高岡市野村)に勤務。設計専攻建築士ほか。平成18年、いのち椿館が富山県建築賞入賞。

一級建築士

■DATA 県建築士会の一級建築士会員の女性割合/5.4%

創建築事務所 企画設計室長

やま なか みち よ
山中 路代さん

心地良い空間を追求し、カタチに

設計した建築物は、いのち椿館、戸出西部保育園、県営住宅太閤山東団地など県内に数多い。「これからの時代は女性も技術を身に付けた方が良い」という親の後押しもあり、中学生のときに建築関係に進むことを決めた。石川高専や大学で建築を学んだ後、住宅会社に入社。次第に、建築の専門家としての想いが強くなり、3年後に一級建築士を取得し、(株)創建築事務所に転職した。

「線」の重みと怖さを感じるようになったという。「仕事をしながら、常に壁にぶつかる感じ。でも、施主に建物を引渡す時、喜びや感謝の声をかけられると、今までの苦労も消え目頭が熱くなる」と語る。

「目線だけでなく、鳥の目になって上空から高岡のまちを見て、今後のまちづくりに役立つように」と微笑んだ。

好奇心を持っていろんなことを経験し、感性を高めた豊かな人になってほしい。



国際的に見ると、日本では女性の能力がまだまだ十分に活かされていませんが、さまざまな分野で活躍する女性を目にする機会が増えてきました。

雇用不安といわれる反面、労働力人口が減少し、全人口の6割を下回っています。この先、日本経済が成長するには、女性をはじめとした労働力の確保と能力の活用が重要な課題であるとも聞かれます。一方で、女性が働き続けるには、「将来、あの人のようになりたい」と思えるロールモデルの存在が大いに励みになるものです。

※労働力人口……15歳以上の就業者と完全失業者を合わせた総数。高齢者・専業主婦・学生など職探しをしていない人は含まれない。
※ロールモデル……行動の手本・模範となり、「将来あの人のようになりたい」と思わせるような存在のこと。

ロールモデルに学ぼう

特集

今、輝いている高岡の女性たち

今回は、起業、建築、医学、企業経営・管理職、法律、研究など、女性の活躍が少ない分野・業種でイキイキと輝いている高岡の女性たちの活躍ぶり取材しました。

中学生・高校生など、次代を担うみなさんへのアドバイスも頂きました。

医師

■DATA 医師の女性割合/17.2% (全国)

厚生連高岡病院 外科医長

おやま かえ こ
尾山 佳永子さん

チームワークを支えられ

「家に帰ると娘にベッタリです」と、それまでのクールな表情から一変、優しいママの顔を覗かせる尾山さんは院内唯一の日本乳癌学会乳癌専門医だ。約1年前に出産し、産後2ヶ月で職場復帰した後、しばらくは娘を預けた保育園へ授乳に通っていた。今は夜勤が免除されている。「医師を続けられるのは、夫や両親、上司・同僚の理解と協力があるから」と話す。

職場は臓器別のチーム体制を取り、お互いにサポートし合う。「年齢や性別による差別が無い分、責任は重い。だからこそ、やり甲斐がある」と断言する。復帰当日から100パーセントの力を求められるのが医師の仕事。長く休めばそれも難しい。同じ

「この道は開けるはず。進んでいこう」と決めた。諦めないで、進んでいこう。道は開けるはず。



厚生連高岡病院で乳癌を専門に治療にあたる。日本乳癌学会乳癌専門医、日本外科学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医ほか。

医療関係の仕事に就く夫が産後10ヶ月まで育児休業を取得したことがスピード復帰を支えた。夫とは結婚・出産前から、医師を続けることについて話し合い、共に歩んできた。両親にも娘が病気の時などに助けてもらっているという。

起業家

■DATA 自営業主の女性割合/25.8% (全国)

民家型ストア「蜂の巣」代表

かや はら かす よ
茅原 一代さん

高岡の雑貨屋で新しい風を

「めっちゃくちゃ負けず嫌いです」と屈託なく笑う茅原さん。のどかな田園にたたずむ和風の大きな一軒家にファッション雑貨店、カフェ、床屋など5つの店舗が同居する「蜂の巣」の代表を務めている。

「どんなに辛くても、好きなことなら、やる気次第で続けられる。」

「自分が楽しくないと、いい仕事はできない。人と出会うのが大好き」持ち前の明るさと行動力で「蜂の巣」をまとめる。

自身と妹たちの子どもが幼い頃は、最初の店舗にカフェを併設し、ますます忙しくなった時期と重なる。「育児部屋」を用意し、計6人の幼児を交替でみていた。「小鳥にエサをやるようにご飯を食わせていた」と振り返る。

「人を呼ぶ仕掛けはみんなと話し合う。一人では企画力も発信力も弱い。それに、一つの店が頑張れば相乗効果が生まれる」と、店舗が集まる強みを教えてくれた。



蜂の巣(高岡市東藤平蔵)に入居する手ぬぐい専門店「あうん」と雑貨店「2UP」のオーナーでもある。



金沢大学医薬保健研究域附属健康増進科学センター特任助教として勤務しながら博士課程に在学。東京慈恵会医科大学講師、淑徳大学准教授などの経歴を持つ。高岡市出身。

研究者

■DATA 研究者の女性割合/13.0%(全国)

金沢大学大学院 博士後期課程

きた やま ゆき え
北山 幸枝さん

傷の処置方法の常識を覆す

スタートは看護師から。金沢大医療技術短大を卒業と同時に金沢大学附属病院に勤め、現場に8年間立った。看護学が研究分野として発展するなか、母校の恩師から創傷看護学の研究をしてみてもと誘われ、平成10年に金沢大学に編入し、その後、修士課程に進む。教授や周りの仲間を支えられて、ようやく一つの新たな創傷看護学を見つけた。それは「傷の際まで石鹸で洗い清潔にすると早く治る」というもので、それまで常識とされていた「傷口を消毒し乾燥させる」という考え方をまるっきり覆すものだった。「当時は医師が消毒する範囲は触ってはいけないと、傷の周辺

は洗わないので垢で汚れていたり臭いがしたり。それがかえって治らないのではという仮説を立てた。薬や医師の力だけでなく、看護でも傷を治せるってすごいこと、と始めた研究。今では北山さんの手法が常識となっている。発表後すぐに勤めた医療品メーカーでは、自身の研究成果をもとに全国をまわり医療機関などに普及する機会も得た。現在は大学に戻り、博士課程での研究の傍ら、同大附属健康増進科学センターに勤務し、市民が気軽に訪れる「まちの保健室」づくりに取り組む。ゆくゆくは看護学のスペシャリストとして大学教員復帰を目指す北山さんの人生の節目にはいつも恩師や仲間の導きや助言があったと話す。周りにいる人を常に大切にしてきた北山さんだからこそ、と感じた。

人のことを考えられる人に。研究は独りではできないもの。仲間を大切にし、信頼できる人脈をつくる。

企業管理職

第一ファインケミカル株式会社 開発営業部 応用開発担当主査

おお うち えい こ
大内 栄子さん

“継続は力なり”を実践

「もう辞めたい、と思ったことは何度もある」と打ち明ける大内さんは、社内にいる課長級以上の女性5人のうちの1人だ。大学院薬学専攻を修了後、「人や動物に役立つ研究を」という信念のもと、会社の研究部門に長く在籍していた。会社から大学へ研究員として派遣されていた時に博士号を取得。そのチャンスを与えた上司には今も感謝しているという。研究の成果が必ずしも製品化につながるとは限らない。そのような時は辛かった。しかし、研究を重ねることにより成功も失敗も明確にして、そのどちらの過程も伝えることがいずれば先輩たちに役立つと信じてやってきた。当時は女性の残業時間に



第一ファインケミカル株式会社(高岡市長慶寺、資本金62億7,600万円、社員445名)に勤務する。医学博士。

規制があり「男女一緒にしてと組合で訴えた」というほど研究に没頭した。そんな中、「自分が携わった製品が市場に出て励みになった。その時に協力し合った人たちとは戦友のような気持ち」と笑顔を見せる。現在は、開発営業部で顧客となるメーカーの要望に合う自社製品の紹介や、新たな開発をしている。「博士号のおかげで、仕事で海外に行った時に対等に話を聞いてもらえる。資格は武器」と明言する。子どもが小さい時は実家の両親によく助けてもらった。仕事の継続には周りの応援や子どもにも理解してもらわないと難しいと感じている。

「上司に質問や意見を言うことが恐れないで、話し合うことが大切」と注文する。謙虚でいて気骨のある女性だ。管理職となった今、部下には「上司に質問や意見を言うことを恐れないで、話し合うことが大切」と注文する。謙虚でいて気骨のある女性だ。

何事もやるからには、責任を持って、人のせいにはしない。5年、10年先の自分を見据えて。

企業経営者

■DATA 社長の女性割合/5.7%(全国)

(株)マーフィーシステムズ 代表取締役

ふじ しげ か よ こ
藤重 嘉余子さん

周りのすべての人に感謝

「仕事は『七(なな)いただきの精神』が大切」と、大きな瞳で一点を見つめながら、そう語る藤重さん。平成8年、たった一人でのスタートだった。ゼロから始めた経験は働けること、仕事があることの有難さを身に沁みて感じさせてくれる。だからこそ、「どんな小さな仕事でも、仕事を与えてくれた人など多くの人たちのお蔭と、7回『ありがとう』と言わなければならない」と、明治生まれの祖母から受け継いだ精神が心の中に生き続けている。保育士として働いていたが体調を崩してソフトウェア会社に転職。その後、結婚を機に勤めた専門学校の講師時代に、就職



社長を務める株式会社マーフィーシステムズ(高岡市末広町、資本金2,500万円、社員32名)は、盛岡市に研究開発室を置き、ソフトウェアやハードウェアの開発などを行う。

水河期に直面する優秀な学生を活かせる職場、また単に利潤のみを追求するのではなく「みんなが笑顔になるモノづくり」を目指す会社を創りたいと考え設立した。創業と同時期に年子で2人の子どもを授かる。「生命力溢れる子どもから素晴らしいパワーを貰えたからこそ、大変な創業時を乗り越えられた」と言い切る。現在は、家事を子ども4人を含む当番制にし、10歳の末っ子も一通りのことができるという。

社員には「私は家庭も大事。それ無しには仕事をする訳にいかない」と理解を求め、授業参観や運動会にも必ず参加。一方で、昼食の時間も勿体無いというほど多忙な毎日だ。「我(わが)執(しつ)からは何も生まれないのです」仕事はあくまで客観的な視点で大切だと教えてくれた。話しているだけで相手に力を与える女性だ。

動かない人のために、人は動かない。知識より経験を積もう。

検事

■DATA 検事の女性割合/18.2%(全国)

富山地方検察庁高岡支部 支部長検事

ちば み ゆき
千葉 美幸さん

検察庁高岡支部のトップに

高岡支部の職員約20人を率い、検事の仕事だけでなく組織の長として各業務の最終承認を行う。「被害に遭われ、深い悲しみにある方と話すのは慣れるものではないし重い気持ちになるが、司法できちんと手続きを踏んで結論を出すことで、多少でも納得してもらえたら」と話す千葉さん。自分より人生経験豊富な被疑者にも小手先ではなく一生懸命向き合うことが大切だと実感している。「キムタクの(検事)ドラマみたいに、あんなに格好良きはいかないですね」と、苦笑いする。女性だからと不利益な扱いや仕事の制限など差別されたことは無い。むしろ、女性の被害者の多い性犯罪などでは話を聞き



埼玉県出身。平成21年4月より富山地方検察庁高岡支部(県西部など6市を担当)の支部長に就任。大学4年で司法試験に合格し、検事となつて11年目。

やすいという。堅いイメージの職業だが一つひとつ丁寧に優しく答えるまなざしは温かい。運動会では応援団長を務めるなど元々活発で、日頃からいろいろな人に話を聞く機会を大事にしているという。休日にはガーデニングや音楽鑑賞で仕事との切り替えを心がける。

高岡管内で起こる事件の地域性を聞いてみると「ゴミを燃やしての廃棄物処理法違反・無施設での盗難被害・見通しの良い交差点での事故」などが意外に多いとの答え。最後に「裁判員制度が始まり、わかりやすい裁判となるよう工夫しておりますので、ご協力して頂く機会がありましたら、よろしく願います」とのメッセージを預かった。

物理・工学は交通事故、数学・会計学は企業犯罪、英語は他国の法制度など、学生時代の勉強は全て役立つ。仕事は人との共同作業。人間関係づくりも大切。



高岡市男女平等推進センター 活動登録団体紹介

定塚女性ネット

定塚校下婦人会が解散した時に、自主的に活動を続けていこうというメンバーで会を立ち上げました。毎月1回集まって地域のことを話し合い、市議会議員に意見を届けています。映画会やウォーキングなど楽しいことを企画し、その中で男女共同参画のことも話し合っています。これからも、無理せず活動を続けていきたいと思っています。

らくだらんま

高岡の若者の力を結集し、地域イベントへの参加や他団体との交流を通じ、まちづくりを積極的に行い、地域の活性化に寄与することを目的としています。活動の中で女性スタッフの力は非常に大きく、運営の上で重要です。それぞれの経験をいかし、お互いに尊重しあいながら、さまざまなイベントを企画立案しています。

スペシャルオリンピックス日本・富山

スペシャルオリンピックス(SO)は、知的発達障がいのある人たちに、様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障がいのある人たちをアスリートと呼び、県内では現在、8つの競技種目にのべ約130名のアスリート会員が取り組んでいます。

茶の本を読む会

NPO法人「茶道 清風の会」の活動を通して結成した会で、野外学習も含めた活動をしています。会員は毎年、チラシ等で募集し、富山短大名誉教授 村井究光先生に指導頂いています。今年で19年を迎えます。茶道に関する著書を毎年選び、30名余の会員が、茶の文化の底流にある自由・平等・同胞の精神を手掛かりに今後の生き方を考えています。

あなたのグループもセンターに登録しませんか？

センターのホームページ(<http://www2.city-takaoka.jp/gec>)で、上記以外の登録団体・グループも紹介しています。

2010年
2月末現在の登録
49団体



ご存知ですか？

富山県子育て支援・少子化対策条例

子どもは地域の宝・未来への希望です。
この条例をもとに、子どもの笑顔と元気な声があふれる、
活気のある地域社会の実現を目指した、県民参加による基本計画づくりが進んでいます。

子育て支援・少子化対策条例(平成21年6月施行)では、地域や家庭、事業者、行政などが一体となって、次の4つの基本施策に取り組むことが定められています。

- I. 家庭や地域での子育て支援
- II. 仕事と子育ての両立
- III. 明日を担う子どもたちを育てる
- IV. 子育ての経済的負担を減らす

【富山県の現状】

若者の
県外流出

未婚化
・晩婚化

夫婦間の
子ども数の
減少

子どもが
切磋琢磨し、
たくましく育つ
機会の減少

地域の
教育力の低下

家庭の
子育て力の
低下

…など

例えば、
どうなるの？

条例では、法律より小規模な事業所へ従業員の仕事と子育ての両立を推進する行動計画の策定を義務付け(従業員51人以上100人以下・平成23年4月施行)ています。また、この春に策定される基本計画でも、さまざまな取組みが盛り込まれる予定です。みんなが一緒になって、未来を担う大切な子どもたちの笑顔を守っていけたらいいですね。

詳しくは県のホームページ (<http://www.pref.toyama.jp/>) へ

セピア色の 写真から

「宮仕えから、人々の生きる支えへと」

永田 真照(すい)さん

(一九一四年～一九九二年)



加賀藩 一代藩主 前田利長公に「高岡」の地名を進言したことで知られる衆徳山総持寺(高野山真言宗・高岡市関町)には貞明皇后さま(大正天皇の皇后)のご愛用の着物や帽子が展示されている。先代住職の母、故永田真照さんは十二歳から結婚するまでの十一年間、宮中に仕えていた。自分の知らないところで決められていった人生を、大正・昭和・平成と、たくましく生きた女性だった。

十二歳より宮仕え・戸惑い

氷見市森寺の裕福な農家、川岸家の四女に生まれた真照さんのもとに、兄の飛見丈繁さん(元県議)から御所勤めの話が持ち込まれたのは十二歳の夏だった。本人の気持ちによそに、親族会議で決定し、兄に伴われて宮中に入ったのは大正十五年十月。大正天皇が崩御される二ヶ月前のことだった。

真照さんは針女という、貞明皇后に仕える女官の身のまわりの世話や裁縫を担う役職に就いた。宮中での生活はこれまでとは別世界で、耳慣

れない御所言葉が行きかい、女官の化粧道具の並べ方、洗濯物の干し方一つひとつに細かい決まりが有り、真照さんを戸惑わせたという。

宮中から女学校へ・行列のお供

昭和に入ると、女官制度改革がなされ奉公人は半分に減らされた。真照さんはまだ幼いことを理由に、宮中からただ一人、和洋裁縫女学校本科に入学させてもらった。真照さんにとつて、それは胸が躍るような出来事だった。

やがて女学校を終え、雑仕(針女)の一段上の職で、掃除や洗濯などの

雑務を行う)に昇進した真照さんは昭和十二年初夏、関西方面への貞明皇太后の行啓にお供することになる。日中戦争の開戦直前とあって厳しい警備の中、多くの人々の歓迎を受けた一行に加わった。「恐れ多くも後ろから、うつむいて通りましたことなどを後で思い出すと、宮中での悲しかったこと、つらかったことなど全部きれいに忘れてしまい、現在ではただありがたいの一語につきるの

でございます」と、真照さんは後に、当様の様子を語っている。

結婚・仏門へ

御所勤めを退いた四ヶ月後、丈繁さんの知人が総代を務める総持寺四十六世住職永田俊岳さんと結婚。「兄の勧めるまま嫁入りいたしました。が、相手の方のお顔も知らず、夜が明けて初めて方丈(住職のこと)の顔を見て・・・」実は、お見合いとは



御所勤めを退いた時に頂いた品々など

知らされずに、以前、兄と一緒に俊岳さんに対面していたのだ。同寺には国重要文化財「千手観世音菩薩像」が収められ、前田利長公に二十二世快雄住職が詩経の一節「鳳鳴けり、彼の高き岡に・・・」にちなんで「高岡」の地名を進言したことでも知られる。だが、俊岳さんの先代までは弟子から弟子へと受け継がれてきた寺で、経済的に厳しく、維持していく苦労も並大抵ではなかった。真照さんは一男三女を授かるが、次女は生まれて間もなく、次いで長女も六歳で亡くし、深い悲しみを負った。それをきっかけに仏の道に一層励むことを心に決め、高野山などで修行を積んで、名前もそれまでの「すい」から「真照」に改めた。晩年は、観音堂で日夜、読経し、信者の相談を受ける日々だったという。

凛とした若き日の写真を見るにつけ、宮中の心細さに耐え健気に励んだ少女時代と、子を亡くした悲しみの中で人々の生きる支えとなつた気丈な女性の姿を垣間見るような思いがする。

先代住職詳岳さん(真照さんの長男の妻、智照さん)にお話を聞きました。真照さんの談話部分は昭和五十一年五月十七日付け富山新聞「越中おんな一代」より引用。

センターから

高岡市男女平等推進センター



“わたしの未来は わたしが創る”人へ

今回、特集で登場して頂いた女性たちの共通点は、積極性・根気強さ・仕事への使命感・人との縁を大切にする・責任感の強さ…ではないでしょうか。このような姿勢こそが、感性や行動力を磨き、自分自身を成長させます。

働くことは厳しいけれど、自己成長が得られ、幸せを掴むために大切なことだと、皆さんの実に美しい笑顔が語ってくれています。

あらゆる分野で新しい能力とエネルギーを必要としています。どうぞ、あなたのロールモデルを見つけて、あなた自身の未来創りをしてください。

所長 野村 乙美

インフォメーション



男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法に基づく紛争解決援助制度

相談してみませんか

育児・介護休業などのトラブル

県内で、妊娠・出産・育児休業取得を理由とした解雇など不利益な取扱いに関する相談が増えています。

労働者と会社との間で妊娠・出産や育児・介護休業等のトラブルが生じた場合、都道府県労働局長による援助、または調停委員による調停の援助を受けることができます。(育児・介護休業法に関わる調停は平成22年4月1日からスタート)

詳しくは、富山労働局雇用均等室

電話

(076) 432-2740

ホームページ

<http://www.toyamaroudoukyoku.go.jp/org/index4.html>

高岡市男女平等推進プラン情報誌「ありて」は男女平等・共同参画の推進を目的に、公募による市民編集員が企画・編集しています。

「やらないよりやったほうが良い、知らないより知ったほうが良い」私自身の“ときめき発見”への挑戦でした。私の中の引き出しが増えました。情報誌を愛読して頂き、住みよい社会の実現にまい進出来るようお祈りいたします。
(青島 幸子)

これまで、環境・防災・科学の分野は男女共同参画の視点で取り上げたものは少なかったと思います。この2年あえてこの分野でテーマを選び、企画・取材・編集と編集員はみな果敢に取り組んできました。それなりに有意義であったと自負しています。(久湊 洋子)

編集後記

緊張と不安から始まった活動でしたが、今はホッとしています。人との出会いによる発見や、助け合うことの大切さなど多くのことを学びました。とても貴重な経験をありがとうございました。

(川縁晴津子)

皆さんについて行くのが精一杯の2年間でしたが、普段接する機会がない方から貴重なお話が聞け、とても勉強になりました。私をいつもリードして下さった編集員の方々に感謝します。ありがとうございました。

(山田 美紀)

ありて キャラクターデザイン：山崎 可菜さん(高岡市在住) 表紙イラスト：川縁 晴津子さん(ありて編集員)



市民編集員の皆さん、2年間、本当にありがとうございました。この号で皆さんの任期が終了し、次号からまた新たなメンバーでお届けします。

発行／高岡市男女平等推進センター

〒933-0023 高岡市末広町1-7 (ウイング・ウイング高岡6階)
電話／0766-20-1810 FAX／0766-20-1815
E-mail／gec@office.city.takaoka.toyama.jp
ホームページ／<http://www2.city-takaoka.jp/gec/>

「ありて」は上記のHPでもご覧いただけます。
この情報誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

※ありて8号の「セピア色の写真から」の南すめさんの生年に誤りがありました。正しくは1920年です。訂正してお詫びいたします。



第23回全国スポーツ・レクリエーション祭

スポレクとやま2010

きとぎとスポレク きてきて富山
平成22年10月16日(土)～19日(火)